

仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事
公募型指名競争入札に係る指名業者選定

審 査 講 評

令和 8 年 3 月

仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事
入札指名業者審査委員会

目 次

1. 事業概要.....	1
2. 審査方法.....	1
3. 審査結果.....	7
5. 総括.....	11

はじめに

仁淀川下流衛生事務組合(以下「本組合」という。)は、本組合が管理運営をおこなっている仁淀川下流衛生事務組合衛生センターの老朽化等に伴い、し尿等の適正処理の安定的な維持と循環型社会形成のさらなる推進を目指すため、新たな衛生センター(汚泥再生処理センター)の建設工事(以下「本工事」という。)を計画している。

本組合は本工事の入札・契約にあたり、公募型指名競争入札を採用することとし、その実施については、中立かつ公平、公正な入札指名業者の選定を行うことを目的として、仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事入札指名業者審査委員会(以下「審査委員会」という。)を設置した。

審査委員会では、公募要領及び審査基準等の審議、応募者の技術提案に関するヒアリング及び技術提案書の審査を行い、見積価格と合わせた総合的な評価結果に基づき入札参加者を指名した。

審査委員会の役割は、入札参加者の指名をもって終了したことから、入札指名業者選定手続きの経過及び入札参加者の指名に係る審査結果を総括し、ここに入札参加者の指名に係る講評をとりまとめるものである。

1. 事業概要

1) 事業名称

仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事

2) 事業実施場所

高知県土佐市高岡町甲地内（現施設敷地及び隣接する新規用地）

3) 事業期間

令和8年4月（本契約の締結日）から令和13年3月31日まで

4) 対象施設

有機性廃棄物リサイクル推進施設（汚泥再生処理センター）

(1) 施設規模

85kL/日（し尿：7kL/日、浄化槽汚泥：78kL/日）

(2) 処理方式

し尿等処理：生物学的脱窒素処理方式（標準脱窒素処理方式を除く）

資源化処理：助燃剤化方式

2. 審査方法

1) 審査委員会の設置

公募型指名競争入札方式による本工事の入札を実施するにあたり、中立かつ公平、公正な指名審査を行うことを目的として、表-1 に示す8名の委員により構成される入札指名業者審査委員会を設置した。

表-1 入札指名業者審査委員会

充て職	所属名	氏名	備考
委員長	高知中央西部焼却処理事務組合 北原クリーンセンター 所長	嶋崎 貴子	組合幹事
副委員長	いの町役場 環境課長	濱田 美穂	組合幹事
委員	日高村役場 産業環境課長	戸梶 泰彰	組合幹事
	土佐市役所 学校教育課	野村 和宏	
	いの町役場 上下水道課長	川村 明人	
	日高村役場 建設課長	西村 篤史	
	仁淀川下流衛生事務組合 衛生センター 所長	井上 智裕	
	仁淀川下流衛生事務組合 衛生センター 水処理係長	今田 俊之	

2) 入札参加者の指名手順

募集公告から入札参加者の指名までの手順を図-1 に示す。

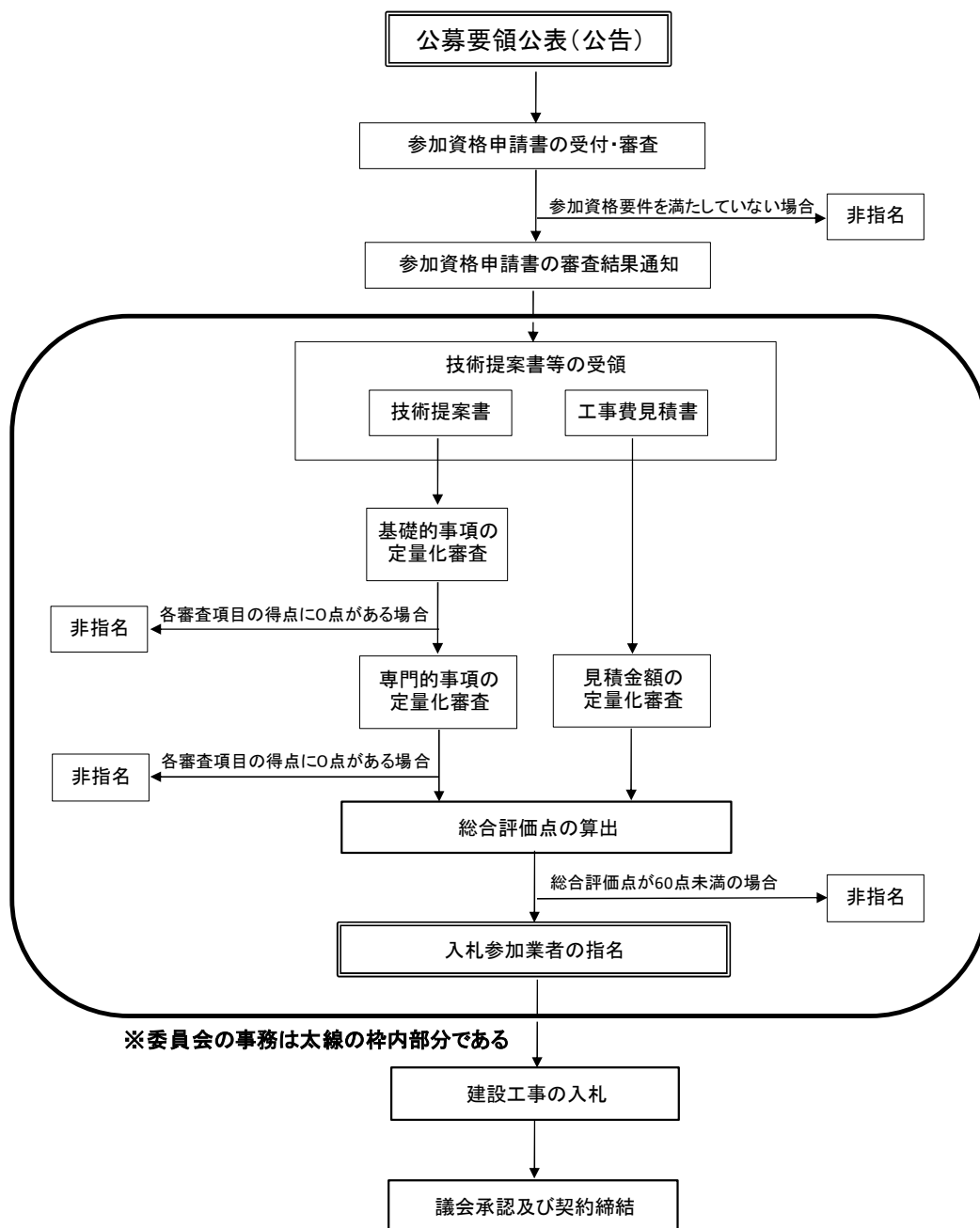


図-1 入札参加者の指名手順

3) 審査委員会の開催と入札参加者指名までの経過

審査委員会の開催と入札参加者指名までの経過を表-2 に示す。

表-2 審査委員会の開催及び入札参加者指名までの経過

実施年月日	項 目
令和7年9月19日（金）	【第1回入札指名業者審査委員会】 技術提案仕様書の確認及び公募要領等の審議
令和7年10月1日（水）	仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事公募 型指名競争入札に係る公募要領の公表（公告）
令和7年10月14日（火） ～10月17日（金）	参加表明書及び参加資格確認申請書の受付〔2社〕
令和7年10月23日（木）	参加資格審査結果の通知〔2社〕
令和7年10月27日（月） ～11月5日（水）	工事場所確認等の受付及び技術提案仕様書に関する 質問受付〔2社〕
令和7年11月19日（水）	技術提案仕様書に関する質問回答〔2社〕
令和7年11月20日（木） ～11月28日（金）	参考書類閲覧受付及び参考書類閲覧期間〔2社〕
令和7年12月25日（木）	技術提案書受領〔2社〕
令和8年2月16日（月）	【第2回入札指名業者審査委員会】 技術提案内容及び建設工事見積金額の確認
令和8年2月27日（金）	【第3回入札指名業者審査委員会】 技術提案内容のヒアリング、技術評価及び入札参加者 の指名
令和8年2月27日（金）	技術提案書審査結果(競争入札指名通知)の通知〔2社〕

4) 参加資格審査

参加資格審査では、応募者からの参加資格確認申請書をもとに、参加資格要件を備えているかどうかを確認する。資格審査の結果、参加資格要件を満たしていない応募者は非指名とする。

5) 提案内容の評価

技術提案書等は、審査委員会において、基礎的事項、専門的事項及び工事価格について審査し、建設工事への適合性を有するものと認められる応募者を入札参加者として指名する。

各審査事項は、客観的な視点から評価するため、審査項目ごとに提案内容の点数化を行い、それらを合計した総合評価点により建設工事への適合性を有する提案であるかどうかを判定する。審査項目ごとの配点は表-3 に示すとおりであり、審査委員会において、表-4-1～4 の評価基準を適用して得点化を行う。なお、得点は、小数点以下3位を四捨五入した値とする。

各審査項目の配点は、表-3 に示すとおり評価点が満点の場合で 100 点となるように振り分けている。総合評価点が 60 点以上を獲得した技術提案を建設工事への適合性を有する提案と判定し、60 点以上の技術提案書等を提出した応募者を入札参加者として指名する。なお、各審査項目の評価点に 0 点が1つでも認められる場合は、総合評価点の得点にかかわらず、建設工事への適合性が低い提案と判定し、当該提案の応募者は非指名とする。

表-3 審査項目とその配点

審査項目(大)	審査項目(中)	審査項目(小)	配点
基礎的事項	１．設計仕様書と技術提案仕様書の整合性に関する事項		1
	２．設計計算書と技術提案仕様書の整合性に関する事項		1
	３．図面類と技術提案仕様書の整合性に関する事項		1
	４．その他の書類と技術提案仕様書の整合性に関する事項		1
	５．提案図書間の整合性に関する事項		1
	小　計		5
専門的事項 (特定テーマ)	１．施設計画に関する事項	1)施設配置計画、車両動線計画	6
		2)設備機器配置計画、作業動線計画	5
		3)工事施工計画	6
	２．し尿等処理の信頼性、設備機器の保全性に関する事項	1)水処理の安定性、水質維持の妥当性	6
		2)資源化の安定性、容易性	6
		3)設備機器の保全性	5
	３．施設の長寿命化・強靱化に関する事項	1) 施設の長寿命化への取組	4
		2) 施設の強靱化への取組	4
	４．環境への配慮に関する事項	1) 省エネ・省資源化への取組	3
		2) 周辺環境との調和、景観への配慮	3
		3) 騒音・振動・悪臭等の発生防止	6
	５．維持管理費等に関する事項	1)維持管理費	3
		2)点検補修費	3
	６．地域経済への貢献に関する事項	1)地域経済への貢献	5
小　計		65	
技術提案書の配点計			70
工事価格	工事費見積価格の配点		30
配点合計			100

表-4-1 審査項目の採点基準（基礎的事項）

評価段階	評価基準	点数化方法
A	・当該審査項目において、技術提案仕様書を全て満足している。	配点×1.00
B	・当該審査項目において、技術提案仕様書との軽微な不整合箇所が5か所未満となっており、改善の機会での修正が確認できる。	配点×0.75
C	・当該審査項目において、技術提案仕様書との軽微な不整合箇所が5か所以上10か所未満となっており、改善の機会での修正が確認できる。	配点×0.50
D	・当該審査項目において、技術提案仕様書との軽微な不整合箇所が10か所以上認められるが、改善の機会での修正が確認できる。	配点×0.25
E	・当該審査項目において、技術提案仕様書との軽微な不整合箇所が認められるものの、改善の機会での修正が確認できない。	配点×0

表-4-2 審査項目の採点基準（専門的事項1～4, 6）

評価段階	評価基準	点数化方法
A	・当該評価項目において、技術提案仕様書を的確に理解し具体的・現実的な優れた提案で、大きな効果が期待でき、応募者の中で最も優れている。	配点×1.00
B	・当該評価項目において、技術提案仕様書を的確に理解し具体的・現実的な提案が記載され、効果が期待できる。	配点×0.75
C	・当該評価項目において、技術提案仕様書に対し優れた点が認められ、一定の効果が期待できる。	配点×0.50
D	・当該評価項目において、技術提案仕様書に対し優れた点が認められるが、効果はあまり期待できない。	配点×0.25
E	・当該評価項目において、技術提案仕様書を理解した提案であり、効果が期待できない。	配点×0

表-4-3 審査項目の採点基準（専門的事項5）

審査項目	点数化方法
維持管理費（1年間）	配点（5点）×（最低見積金額 ÷ 各応募者の見積金額）
点検補修費（15年間）	配点（5点）×（最低見積金額 ÷ 各応募者の見積金額）

表-4-4 審査項目の採点基準（工事価格）

審査項目	点数化方法
工事価格	配点（30点）×（最低見積金額 ÷ 各応募者の見積金額）

3. 審査結果

1) 参加資格審査

令和7年10月1日に公募要領の公表(公告)をおこない、参加表明書及び参加資格確認申請書類を受け付けたところ、表-5に示す2社から参加資格確認申請書の提出がなされた。これら2社について、参加資格の審査をおこなったところ、2社とも参加資格を有することを確認したので、令和7年10月23日に参加資格確認結果を書面にて通知した。なお、審査委員会では、審査の公平性・公正性を確保するため、入札参加者を指名するまでは、応募者名称を用いて審査を行った。

表-5 応募者一覧

応募者名称	業者名
海	水道機工株式会社 大阪支店
川	クボタ環境エンジニアリング株式会社 大阪支社

2) 技術提案の審査・評価

(1) 基礎的事項の審査

応募者の技術提案について、必要な書類が全て揃っているか、また、技術提案書の記載内容が技術提案仕様書と整合しているかどうかなどを確認した結果、応募者2社ともに提出された技術提案書は技術提案仕様書の要件を充足していた。一方、提出された技術提案書においては、2社ともに提案図書間に軽微な不整合箇所が認められたが、これらについては改善の機会での修正が確認されている。なお、不整合箇所の有無及び不整合箇所数は、表-4-1に従って得点化した。

(2) 専門的事項の審査

表-3に示される専門的事項のうち、1.～4.及び6.の5項目については、技術提案書の内容確認及び技術ヒアリングを行うことにより審査し、表-4-2の採点基準により各委員が5段階の評価をおこなって得点化し、それらを平均することにより各審査項目の得点を算出した。また、表-3の5.については、表-4-3の採点基準により得点化した。

(3) 工事価格の審査

工事価格は、応募者から技術提案書とともに提出された工事費見積書の金額について、表-4-4の採点基準により得点化した。

(4) 評価得点

応募者の技術提案に対する各審査項目の技術評価点及び見積金額の価格評価点、ならびに技術評価点と価格評価点を合計した総合評価点を表-6に示す。応募者の総合評価点は2社ともに60点以上であることから、審査委員会は、応募者「海」及び「川」を仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事公募型指名競争入札の指名相手先として決定した。

表-6 技術評価点及び価格評価点の集計結果

審査項目		配点	応募者		
			海	川	
1. 基礎的事項					
	1. 設計仕様書と技術提案仕様書の整合性	1	1.00	1.00	
	2. 設計計算書と技術提案仕様書の整合性	1	1.00	1.00	
	3. 図面類と技術提案仕様書の整合性	1	1.00	1.00	
	4. その他の書類と技術提案仕様書の整合性	1	1.00	1.00	
	5. 提案図書間の整合性	1	0.25	0.75	
	小 計	5	4.25	4.75	
2. 専門的事項(特定テーマ)					
	1. 施設計画	1)施設配置計画、車両動線計画	6	3.75	4.31
		2)設備機器配置計画、作業動線計画	5	3.59	3.44
		3)工事施工計画	6	3.75	3.94
	2. し尿等処理の信頼性、設備機器の保全性	1)水処理の安定性、水質維持の妥当性	6	3.94	4.31
		2)資源化の安定性、容易性	6	3.38	4.13
		3)設備機器の保全性	5	3.44	3.28
	3. 施設の長寿命化・強靱化	1) 施設の長寿命化への取組	4	2.50	2.75
		2) 施設の強靱化への取組	4	2.38	2.88
	4. 環境への配慮	1) 省エネ・省資源化への取組	3	1.78	2.25
		2) 周辺環境との調和、景観への配慮	3	2.06	2.16
		3) 騒音・振動・悪臭等の発生防止	6	3.38	4.69
	5. 維持管理費等	1)維持管理費	3	2.49	3.00
		2)点検補修費	3	3.00	2.50
	6. 地域経済への貢献	1)地域経済への貢献	5	3.04	3.04
	小 計		65	42.48	46.68
	技術評価点（1. 基礎的事項 + 2. 専門的事項）		70	46.73	51.43
3. 工事価格					
	価格評価点	30	26.74	30.00	
総合評価得点（1. 基礎的事項 + 2. 専門的事項 + 3. 工事価格）		100	73.47	81.43	

注) 各審査項目の得点は、少数点以下3位を四捨五入した値とした。

4. 審査講評

応募者の技術提案書に関する各審査項目の審査講評を表-7 に示す。

表-7 各審査項目の講評（1/2）

審査項目		講 評
1. 基礎的事項		
1. ～ 4. 技術提案書と技術提案仕様書の整合性		・「海」、「川」とともに技術提案仕様書で求めた内容の技術提案書が提出されていた。
5. 提案図書間の整合性		・「海」、「川」とともに設計仕様書と設計計算書との間で不整合箇所が認められ、その箇所数は「海」で12箇所、「川」は4箇所であったが、これを基礎的事項の評価に反映させた。なお、これらの不整合箇所は、いずれも改善指示により適正に修正されていた。
2. 専門的事項(特定テーマ)		
1. 施設計画		
1) 施設配置計画、車両動線計画		・「海」、「川」とともに、敷地の形状や現施設の稼働に配慮した建屋配置計画、車両動線計画が示されていた。
2) 設備機器配置計画、作業動線計画		・「海」、「川」とともに、作業動線、維持管理スペース、機器の搬出入スペースに配慮した機器配置計画及び作業動線計画が示されていた。
3) 工事施工計画		・「海」、「川」とともに、施工手順(敷地造成工事及び既設解体・撤去工事を含む)、工事期間中の安全衛生管理・し尿等処理計画・周辺環境保全対策及び交通安全対策を考慮した工事施工計画が示されていた。
2. し尿等処理の信頼性、設備機器の保全性		
1) 水処理の安定性、水質維持の妥当性		・「海」、「川」とともに、処理対象物の量的・質的変動への対応及び処理水質の安定的な維持に関する具体的な提案がなされていた。
2) 資源化の安定性、容易性		・「海」、「川」とともに、処理対象物の量的・質的変動への対応、助燃剤化装置の運転の容易性及び助燃剤の搬出作業に関する具体的な提案がなされていた。
3) 設備機器の保全性		・「海」、「川」とともに、故障の発見方法、部品交換・補修の容易性及びアフターサービス体制について具体的な提案がなされていた。

表-7 各審査項目の講評（2/2）

審査項目	講 評
2. 専門的事項(特定テーマ)	
3. 施設の長寿命化・強靱化	
1) 施設の長寿命化への取組	・「海」、「川」とともに、プラント設備及び建築設備の長寿命化に対する具体的な提案がなされていた。
2) 施設の強靱化への取組	・「海」、「川」とともに、施設の強靱化について、地震、水害及び落雷・停電に関する具体的な提案がなされていた。
4. 環境への配慮	
1) 省エネ・省資源化への取組	・「海」、「川」とともに、プラント設備及び建築設備の省エネ・省資源化に対する具体的な提案がなされていた。 ・「川」については、独自技術による汚泥発生量、電力使用量及び薬品使用量の削減に関する提案を高く評価した。
2) 周辺環境との調和、景観への配慮	・「海」、「川」とともに、周辺環境との調和、景観に配慮した施設計画の提案がなされていた。
3) 騒音・振動・悪臭等の発生防止	・「海」、「川」とともに、プラント設備の稼働に伴う騒音・振動の低減対策、水処理・汚泥処理工程及び助燃剤搬出時の悪臭対策について、具体的な提案がなされていた。 ・「川」については、独自技術による臭気低減対策を高く評価した。
5. 維持管理費等	
1)維持管理費	・「川」の維持管理費を高く評価した。
2)点検補修費	・「海」の点検補修費を高く評価した。
6. 地域経済への貢献	
1)地域経済への貢献	・「海」、「川」とともに、地元企業の活用による地域の活性化に向けた具体的な提案がなされていた。

5. 総括

仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事の公募型指名競争入札に係る公募要領の公表(公告)をおこなったところ 2 社からの応募があり、それぞれの応募者から技術提案書が提出されたが、応募者はいずれも国内を代表する汚泥再生処理センターのプラントメーカーであることから、それぞれが創意工夫に富む意欲的な提案内容であった。

応募者から提出された技術提案書は、豊富な経験とノウハウが十分に盛り込まれ、異なる特長を持ちながらも、いずれも熱意あふれる優れた技術提案となっており、いずれの応募者とも本組合が計画している汚泥再生処理センターの設計・施工能力を有していることを確認できた。短期間のうちに、このような提案をまとめ上げた応募者 2 社の多大な尽力に対して、深く敬意と謝意を表したい。

応募者 2 社については、衛生センター建設工事の発注仕様を十分に満足する施設の設計・施工能力を有することを確認しているものの、審査委員会としては、公募型指名競争入札の落札者が、技術提案書の内容及び改善指示書に対する回答、ならびに技術対話における意見を誠実かつ確実に履行するとともに、本工事の設計・施工の段階において、発注者である仁淀川下流衛生事務組合と十分な協議をおこない、真摯な対応に努めていただくことを望むものである。

令和 8 年 3 月

仁淀川下流衛生事務組合衛生センター建設工事 入札指名業者審査委員会